

インターバンクの声（2014 年 8 月 28 日）

昨晚の海外市場は、主要経済指標の発表もなく、ユーロがやや反発したのが目立つ程度の値動きだった。また、ほぼ毎日のように最高値を更新しているニューヨーク株式市場も久々に勢いが感じられず静かな一日だった。

市場は早くも来週の米雇用統計待ちの様相を呈してきているようだが、やはり足元で気掛かりなのは中東情勢とウクライナ情勢だ。オバマ大統領は、戦闘の場がイラクからシリアにまで拡大するのを懸念して決断を躊躇させているようだが、ホワイトハウス自体は、シリア上空での偵察活動を承認したようだ。仮に戦闘地域の拡大となれば、地政学リスクが大きくなり、短期的にはポジション調整となるような円高になる可能性もある。来週月曜日は、米国市場が休みのため 3 連休前の今週末の値動きには要注意だ。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。